

氏名	佐藤扶穂	GitHub URL	<a href="https://github.com/mores1">https://github.com/mores1</a>
----	------	------------	---

## ◆習得スキル

設計	画面設計、機能一覧、データベース設計(ER図・テーブル定義書)、アプリケーション詳細設計
プロジェクト管理	チームビルディング、WBS管理、KPT、GitHub(チーム開発)
フロントエンド	HTML/CSS、Bootstrap JavaScript/jQuery
バックエンド	Ruby/Ruby on Rails 利用したライブラリ(devise,kaminari,pry-bybug)
インフラ	AWS(EC2,RDS,ELB)
外部API	Google Maps API
その他	RSpec、SQL

## ◆ポートフォリオ

サイト名	テンプレート			
サイトURL	<a href="http://3.89.220.251/">http://3.89.220.251/</a>			
テストユーザ	ログインID	test	パスワード	fffff
GitHubURL	<a href="https://github.com/mores1/pf_date">https://github.com/mores1/pf_date</a>			
サービス詳細/ 開発環境	<a href="https://github.com/mores1/pf_date#readme">https://github.com/mores1/pf_date#readme</a>			

重視したこと
<p>本サイトではテーマ・デザインにおけるユーザビリティを意識して作成しました。テーマについてはマッチングアプリは多々あるのにその後使える便利なサーチアプリが無いという周囲の声から、人に必要とされるテーマを選定し、デザイン面でも見やすさ・使いやすさを重視しました。</p> <p>機能面でも検索機能、タグ分け機能などユーザー目線で必要な機能を簡潔に実装する事を意識しました。</p> <p>また、オリジナリティとして場所投稿や、レビューサイトといった物に留まらず「投稿を元にプランを作る」といった機能で他との差別化を図りました。</p>
取り入れた技術
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーザー認証(devise)</li> <li>・画像アップロード機能(Active Storage)</li> <li>・タグ機能(acts-as-taggable-on)</li> <li>・ワード検索機能(ransack)</li> <li>・Google Maps API</li> <li>・レビュー機能</li> </ul>
エンジニアからのポートフォリオへの所感
<p>コンセプトの設定→機能の設計→詳細設計と丁寧に取り組みよく考えられています。</p> <p>1,2か月目で学習したRuby On Railsの基本的な部分を取り入れMVCのどこで実現するかをよく考えて実装出来ています。</p> <p>レイアウト・デザインは統一感を持たせ、直感的に操作方法が分かるようになっていました。</p> <p>記述するコードはインデントをしっかりと意識して変数名やメソッド名も適切なコードを書いている綺麗なコードです。</p> <p>RubyOnRailsの基本機能の習得とアウトプットはもちろんのこと、地図機能(Google map api)や評価機能(raty.js)などにチャレンジし、サービスとして細かなユーザビリティ支援のために自分で調べてきたことを実践できています。</p>

◆学習カリキュラム以外の自主学習内容/学習計画

スクール入学以前
・ProgateでJavaScript,Ruby,Ruby on Rails5,HTML & CSS,Node.js,Pythonなどに触れておりました。
スクール受講中
スクール受講中はカリキュラムに加えて上記Progateや、UdemyでJavaScriptやHTML、CSSの学習に取り組んでおりました。
スクール卒業後
卒業後は開発にはサーバー言語の知識が必要だと感じた為Javaを中心に勉強し、同時にポートフォリオで作成したアプリケーションにGoogle MapsのDirectionsを用いてルート検索機の実装に挑戦していきます。

◆チーム開発の本人評

チーム内で担った役割・担当、意識して取り組めたこと
チーム開発では主に、ユーザー機能を担当致しました。 各々が各工程を完了毎に、作業の解説や疑問点・注意点を解消して行った事で綿密な情報共有を図ることが出来ました。私自身も他者に、自身の実装内容を説明出来るよう意識して開発を進めることが出来ました。
チーム開発で得た学び(経験や他者の行動など)
チーム開発で得た事はやはり情報共有の仕方、作業分配の仕方です。実装が終わりマージする際は必ず自身がやった内容を解説するようチームで徹底しておりましたがその中でも苦労した点や注意点、工夫した点を順を追って話すことで自身の理解も深まり、相手にも聞き流されず印象付けて理解してもらう事が出来、後のテストや作業分配も円滑に進むという点を身をもって学ぶことが出来ました。
チーム開発で他者から得た評価、もしくは自身が発揮できたこと
チームメイトに評価して頂けた事は、情報共有とムードメイクです。 メンターさんに聞いて得た情報等も細かく報告していた為、チーム開発で重視していた知識の共有を評価して頂くことが出来ました。また、チームで取り組む中で行き詰った際や通常ストレスが掛かるような状況でも明るく出来るよう、相槌や口調を工夫していた為チームの雰囲気にも貢献してくれたと評価して頂きました。 今後仕事をする上でも他者と働くといった点を意識して、円滑に仕事をしていけるよう意識してまいります。

学習内容詳細

受講期間	内容	環境・言語等
フェーズ I	<p><u>プログラミング学習</u></p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フロントエンドの基礎的な技術を身につけ、ワイヤーフレームを元にレスポンス対応のWebサイトを作成する力を身に付けます。</li> <li>・サーバサイドとして、Ruby on RailsでのCRUD機能の実装をしながら、MVCモデルを学び、gemを利用した各種機能、多対多のアソシエーションを実装。簡易的なサービスを作成する力を付けます。</li> <li>・フロントエンド及び、サーバサイドを学びながら、Githubでのソース管理、BootstrapでのWebサイト制作、AWSの基本サービス、Javascriptでの柔軟なWebサイト制作を実践します。</li> </ul> <p>【詳細】</p> <p>HTML/CSS基礎、レスポンス機能の実装</p> <p>Ruby基礎</p> <p>Ruby on Railsにて、以下機能の実装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なCRUD機能</li> <li>・ログイン機能</li> <li>・マイページ機能</li> <li>・画像投稿機能</li> <li>・コメント機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- OS Linux(CentOS), Windows</li> <li>- 言語 HTML,CSS,JavaScript,Ruby,SQL</li> <li>- フレームワーク Ruby on Rails</li> <li>- CSSフレームワーク Bootstrap</li> <li>- JSライブラリ jQuery</li> <li>- インフラ AWS(EC2,Cloud9)</li> <li>- テストフレームワーク RSpec</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ページング機能</li> <li>・入力項目バリデーション機能</li> <li>・ライブラリ(devise,Active Storage,kaminari)による機能の実装</li> <li>・部分テンプレートによるコード効率化</li> </ul> <p>Bootstrapの理解と実装 GitHubによるソース管理の理解と使用 AWS(EC2/RDS/AMI/EIP)の理解と実装 JavaScriptで外部APIと連携したWebサイト制作</p> <p>【課題】 記載のURLはサンプルです。本人が制作したものではありません。 課題は設計図、もしくは要件のみを提示し、開発してもらいます。</p> <p>1.レスポンス対応のコピーサイト制作 <a href="https://s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/wals/uploads/wals2_content_img/327/wals-front/index.html">https://s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/wals/uploads/wals2_content_img/327/wals-front/index.html</a></p> <p>2.Ruby on Railsでの基礎的なCRUDページ <a href="https://bookers-level1.herokuapp.com/">https://bookers-level1.herokuapp.com/</a></p> <p>3.Ruby on Railsでの応用的なページ <a href="https://bookers-level2.herokuapp.com/">https://bookers-level2.herokuapp.com/</a></p> <p>login name: サンプルタロウ login pass: password</p>	<p>- その他ツールなど AWS Cloud9, Slack, GitHub</p>
フェーズⅡ	<p><u>チーム開発</u></p> <p>【概要】 複数人でEコマースのWEBサービスを制作します。複数人で制作するため、コミュニケーション、タスク管理、設計、開発、ソース管理を身につけるとともに、定期的なチームでの振り返りにより、どのような取り組み、意識をすることがチーム開発を円滑にすすめることができるのかを学習、実践します。</p> <p>【詳細】 ・Github Organization機能にて複数人でのソース管理 ・KPTによる振り返り ・設計書作成(機能一覧、画面設計、データベース設計、モックアップ作成、アプリケーション設計) ・実装 ・制作物のプレゼンテーション</p> <p>【課題】 ECサイト作成 ・会員機能 ・ログインによるセッション管理機能 ・商品一覧/詳細機能 ・カート機能 ・管理者機能 ・商品登録機能 ・購入履歴閲覧機能</p>	<p>- OS Linux(CentOS)</p> <p>- 言語 HTML,CSS,JavaScript ,Ruby,SQL</p> <p>- フレームワーク Ruby on Rails Bootstrap</p> <p>- JSライブラリ jQuery</p> <p>- テストフレームワーク RSpec</p> <p>- その他ツールなど AWS Cloud9, Slack, GitHub</p>
フェーズⅢ	<p><u>ポートフォリオ制作</u></p> <p>「◆ポートフォリオ」参照</p>	<p>「◆ポートフォリオ」参照</p>
フェーズⅣ (クラウド)	<p><u>専門技術講座(クラウド)</u></p> <p>【概要】 ・AWSの主要なサービスであるネットワーク、EC2、S3を中心に学習し、クラウドの特性を理解します。また、これらAWSサービスを活用し、サービス要件に適したネットワーク構成、サーバ構成の環境構築を実践します。</p> <p>【詳細】 ■AWSネットワーク構成</p>	<p>- コンピューティング EC2 ALB Lambda</p> <p>- ストレージ S3 EBS</p> <p>- ネットワーク VPC</p>

	<p>AWSのネットワークサービスを学習した上で、サービス要件に対してネットワーク構成を設計・構築します。</p> <p>■EC2の構成と管理 EC2の特性と機能を学習し、EC2でできることを理解します。その上で、サービス要件に対してEC2構成を設計・構築します。</p> <p>■EC2の運用 EC2におけるサービス運用に必要な機能(監視/復旧・自動化・コスト最適化・制限緩和等)を学習し、実運用に必要なサービス要素を把握します。</p> <p>■S3の構成と管理 S3の特性と機能を学習し、S3を活用したストレージ構成の理解を深めます。</p> <p>■セキュリティ概論 AWSにおけるセキュリティポリシーを学習し、AWSサービスのセキュリティ機能を把握します。</p> <p>■AWSサービス構成実践1(ALB) ディザスタリカバリを参考にクラウドの特性を理解し、DR構成の一例としてALBでのサーバー構成を実践します。</p> <p>■AWSサービス構成実践2(Lambda) ・サーバーレスの一例としてLambdaを学習し、LambdaとS3の連携を実践します。</p> <p>■AWSサービス構成実践3(Rails+S3+Lambda) ・Webアプリケーション+S3+Lambdaを連携させ、サーバーレスでのサービス構成を実践します。</p> <p>【課題】 出題されている以下の課題を解きます。 1. 設計要件(ネットワーク、セキュリティ、監視)を満たすAWSネットワーク、EC2インスタンス、監視設定の環境を構築します。 2. ポートフォリオへのAWSサービスの機能追加 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 3ヶ月目ポートフォリオ(EC2、RDS)を自身が設計、構築したVPC、サブネット、セキュリティ環境に移行します。</li> <li>- インスタンス障害時にアラートが受信できる設定します。</li> </ul> </p>	<p>- セキュリティ IAM</p> <p>- 管理ツール CloudWatch</p>
--	--	---